

かまはし

第77号

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

わがまちの顔

女優

伊東 知香

知香 さん

西蒲田在住で、親子三代（お母様、ご自身そしてお子様）が相生小学校出身という、女優の伊東知香（一九七五―）さんを紹介させていただきます。

小学校・中学校ではバトントワリングで活躍。今でも特技になっています。

高校時代よりダンスを学び、のち東京アナウンス学院放送演技科の特待クラスを経て、卒業後、三輪明宏主演PARCO劇場「近代能楽集葵の上」で葵役に抜擢されました。青山劇場での「黒蜥蜴」出演の際に演出補であった森井睦氏と出会い、一九九八年、同氏主宰の劇団ピープルシアターに所属。



伊東 知香 さん

以降、劇団公演の主役を数々務める。

自身の代表作になっている「焼け焦げるたましい」では、中東の内戦に人生を狂わされる女性の一二〇六〇歳を一人で演じました。

高橋お伝の「女のほむら」では、女優小山明子と同じ、お伝の役を演じ分け、また、劇団チョコレイトキー公演「楽屋」では女優Cを演じるなど、芯のある強い役柄を得意とし、艶やかな表現が評価されています。

二〇一三年、朝日新聞の「TVフェイス」というインタビュコラムで、テレビドラマや各番組などで輝いている人、独自の存在感を見せている人として取り上げられました。

テレビでは橋田壽賀子ドラマSP「結婚」、「シヨコラ4」、「純情きらり」、「奇跡体験！アンビリバボー」、「こたえてちょうだい」、「踊るさんま御殿」、「新幹線物語」、「女の事件簿」等々多数出演されています。現在出演中は、長野朝日放

送「UぐるっTV」。

直近の出演予定は、劇団Dott o o!公演「三角で四角なマル」です。

作・演出 福田卓郎

三月五日（金）〜九日（火）

下北沢駅前劇場

劇団HP <http://do-mo.com>

出演舞台

二〇一七年「燃え上がる荒野」「バクダットの兵士たち」

二〇一六年「新宿カンタータ」「言葉と音楽のセッション」

二〇一五年「バクダットの兵士たち」「新宿・夏の渦」「黄1

二〇一四年「嘆きのバイルート」「言葉と音楽のセッ

二〇一三年「幻の王」「蝦夷地別

件」「言葉と音楽のセッ

二〇一二年「女のほむら」

二〇一一年「女のほむら」

二〇一〇年「女のほむら」

二〇〇九年「女のほむら」

二〇〇八年「女のほむら」

二〇〇七年「女のほむら」

二〇〇六年「女のほむら」

二〇〇五年「女のほむら」

二〇〇四年「女のほむら」

二〇〇三年「女のほむら」

二〇〇二年「女のほむら」

二〇〇一年「女のほむら」

二〇〇〇年「女のほむら」

一九九九年「女のほむら」

一九九八年「女のほむら」

一九九七年「女のほむら」

一九九六年「女のほむら」

（取材 池田・下山・伊藤委員）

食品サンプルの「イワサキ」

レストランや喫茶店で、ショーケースに飾られている精巧な「食品サンプル」の出来栄に、しばし見とれてしまったという経験をお持ちの方は多いでしょう。近年は、ミニチュアの食品サンプルやストラップが、外国人旅行者のお土産として人気があるとも聞いています。



岩崎 瀧三 氏



1号記念オムレツ

食品サンプルは、飲食店の店頭や店内に陳列される料理の模型で、大正時代から昭和初期にかけて日本で作案されました。もともと日本には「目で楽しむ、目で食べる」独自の文化があったのです。

これら食品サンプルでシェア日本一という、西蒲田八丁目の「株式会社岩崎」をご紹介します。

同社は一九三二年(昭和7)、創業者Ⅱ岩崎瀧三氏(一八九五—一九六五)が大阪で岩崎製作所を創立したのに始まります。「そごう(十合)」「百貨店で初めて食品模型が採用されました。一九五二年(昭和27)、御園二丁目といわれた現在地に東京支店を開業し、一九五八年(昭和33)には、米国向けビフテキ三〇〇〇点の大量注文を受けて初輸出。(食品サンプルとしてではなく、ビールの販促グッズとしてでしたが……)

やがて社内にて技術研究室を設けて本格的な合成樹脂による成型の研究を開始し、一九八三年(昭和58)、国際ホテル・レストランシヨウに初出展します。続いて一九八八年(昭和63)、第一回「おいしさのアート展」を開催し、食

品サンプル製作コンクールにおける受賞作品を一般公開、好評を博しました。一九九九年(平成11)、日蘭交流四〇〇周年の記念事業に、日本文化を代表する一商品として食品サンプルが選定され、オランダ巡回博覧会へ出展しました。翌年(平成12)、食品サンプル用新素材「エコーラ」開発。二〇一一年(平成23)には「元祖食品サンプル屋」を立上げ、東京スカイツリータワー店、合羽橋店、横浜赤レンガ倉庫店などで食品サンプルの技術を生かしたユニークで楽しい商品の

販売もしています。

食品サンプルは、昭和初期、外食が日常の行為として流行し始めると日本中に広がり、外食文化になくてはならない存在になりました。

岩崎瀧三氏が食品サンプルに出会った頃はまだ食品模型・料理模型と呼ばれ、事業化はされていませんでした。

瀧三氏はこれに取り組み、試行錯誤をかさねて製造方法を編み出し、大阪で創業したのですが、食

おいしさのアート展

食品サンプル製作コンクールの作品を一般公開する「おいしさのアート展」。受賞作品を中心に商業施設やギャラリーで開催し、好評をいただいています。



おいしさのアート展

食品サンプル製作コンクール



食品サンプル製作コンクー



(左)ハンバーグセット、(右)ナポリタン

品サンプルの第一号は、なんと奥様が作ったオムレツでした！ 忠実に再現され、本物と見間違えるほどのリアルさ、驚きと感動は今も昔も変わりません。この記念すべき第一号の「記念オム」のレプリカは、東京本社の一階に展示されています。



ステーキ

- これら食品サンプルは、どのようにして作られるのでしょうか。
- ① 型の形成……食材にシリコンを流し込み、写し取った型を製作する。
 - ② 型採り……色付けされた樹脂をゆっくりと型に流し入れ、オーブンで加熱し固める。
 - ③ 成形取り出し……固まったパーツを型から取り出し、はみ出した部分などを修正する。
 - ④ 着色……エアブラシや筆を使って、実物写真を見ながら着色する。
 - ⑤ 盛り付け……スケッチや写真に合わせて、接着しながら盛り付ける、最後にツヤを出して仕上げる。
- 以上、①から⑤までの工程には

食品サンプルはこうして作られる

意外と知られていない食品サンプルの基本的な製作工程をご紹介します。

- 1 型の形成**
食材にシリコンを流し込み、食材表面の凸凹を写し取った型を製作します。
- 2 型採り**
色付けされた樹脂をゆっくりと型に流し入れ、オーブンで加熱し固めます。
- 3 成形取り出し**
固まったパーツを型から取り出し、はみ出した部分などを修正します。
- 4 着色**
エアブラシや筆を使って、実物写真を見ながら着色します。
- 5 盛り付け**
スケッチや実物写真に合わせて接着しながら盛り付けをしていきます。最後にツヤを出して仕上げます。

<実物見本>



二〜三週間が必要だそうです。

元祖食品サンプル屋では、実際に食品サンプルを製作することができる、食品サンプル製作体験を行っています。製作体験では、昔ながらの蝋を使った技法をベースに、現代の食品サンプル職人の技術と発想を生かし開発した、独自の製作体験を開催しています。

また岩崎は、食品サンプルの製作だけではなく、店舗のメニューブック・チラシ等の販促ツールや、医療関係の栄養指導フードモデルとして、糖尿病食・離乳食等のフ

ードモデルも製作しています。

このように、高い製造技術ときめ細かいサービスにより、食品サンプルを全国に広め、飲食店にサンプルケースを置くという日本独自のスタイルの普及に貢献した岩崎瀧三氏。そして「繁盛のお手伝い」を合言葉に前進する現代表取締役の岩崎毅氏。

更なるご発展を期待したいと思います。

(取材 高橋・佐藤・近藤委員)

ご存知ですか？

東京二三区（大田区）の誕生

深川	本所	浅草	下谷	本郷	小石川	牛込	四谷	赤坂	麻布	芝橋	京橋	日本橋	神田	麴町	区	明治15年							
江戸川	葛飾	城東	向島	足立	板橋	王子	荒川	滝野川	豊島	杉並	中野	淀橋	渋谷	世田谷	蒲田	大森	荏原	目黒	品川	区	昭和7年		
中野	渋谷	世田谷	田	大田	目黒	原	品川	東	江東	島	墨田	台東	本郷	文京	新宿	赤坂	港	京橋	中央	田	千代田	区	昭和22年

●東京区部の変遷
 上表のように、大きく三つのステップを踏んでいる。
 明治十一年（一八七八）、郡区町村編成法により東京府は一五区六郡となる。同十二年、区部は新設の東京市（昭和18から都）の下部組織となつて、急激な都市化と共に二〇区を加えて三五区の時代を迎えたが、戦災で焦土と化した。その復興のなかで二三区（特別区）に整理統合されて今日に至る。

●大田区の歴史
 明治三十二年（一八八九）、市制町村制の施行で、東京府荏原郡のうち現大田区のエリアでは、以下の九村が発足し、のち町制を施行している。

- A
 - *大森村 明治30↓大森町
 - *入新井村 不入斗村+新井宿村、大正8↓入新井町
 - *池上村 石川村+雪ヶ谷村+池上村（大部分）+市野倉村+馬込領桐ヶ谷村+堤方村+下池上村+徳持村+久ヶ原村+道々橋村、大正15↓池上町
 - *馬込村 馬込村+池上村（一部）、

- 昭和3↓馬込町
- *調布村 鶴ノ木村（大部分）+嶺村+下沼部村（大部分）+上沼部村、昭和3↓東調布町
- B

- *羽田村 麴谷村+萩中村+鈴木新田+羽田獵師町+羽田村、明治40↓羽田町
- *蒲田村 女塚村+御園村+北蒲田村+蒲田新宿村+鶴ノ木村（一部）、大正11↓蒲田町
- *矢口村 蓮沼村+道塚村+小林村+安方村+原村+今泉村+古市場村+矢口村+下丸子村+鶴ノ木村（一部）、昭和3↓矢口町
- *六郷村 雑色村+八幡塚村+町屋村+高畑村+古川村、昭和3↓六郷町
- 昭和七年（一九三二）、上記が東京市に編入され、Aの五町域をもつて大森区が、Bの四町域をもつて蒲田区が誕生した。
- さらに、太平洋戦争を経て昭和二十二年（一九四七）、大森区と蒲田区が合併して大田区が成立。区名は両区からそれぞれ一字ずつを採用したが、台東区など他の合併区で新名称が紛糾するなかで単純明解、唯一の合成地名として知られている。
- ところで、ふと気がついた。旧蒲田区のマークって、どんなだっ

たのだろうか？
 調べましたが、今のところ判明せず・・・
 （取材 山口委員）

かまにし17」をお読みいただき、ありがとうございます。情報紙に對するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。
 事務局 蒲田西特別出張所
 大田区西蒲田七一一一
 電話 3732・4785

蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,255 人
	女	29,892 人
	計	62,147 人
世帯	35,892 世帯	

令和3年 2月1日現在